



# かわごえ 議会だより



川越市マスコットキャラクター ときも

保育園で楽しい給食



令和5年  
第3回定例会

## 令和5年度一般会計補正予算を可決 資源化センター熱回収施設定期整備工事請負契約を可決

### 定例会の経過

#### <5月>

31日 議案6件上程

#### <6月>

- 5日 議案質疑  
議案1件 採決
- 7日 議会運営委員会
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 12日 一般質問

- 13日 一般質問
- 15日 2 常任委員会  
(総務財政・文化教育)
- 16日 2 常任委員会  
(保健福祉・産業建設)
- 27日 議案5件 人事案件4件  
選挙1件 採決

### 目次

市長提出議案 .....	(2)~(3)
議案議決結果一覧表 .....	(3)
議案質疑 .....	(4)~(5)
一般質問 .....	(6)~(11)
議会情報 .....	(12)

## 市長提出議案

10件の市長提出議案を審議しました。  
採決の結果は3ページの議決結果一覧表を、各議案への質疑は

### 市税条例の一部改正 | 議案第42号

#### 改正の趣旨

地方税法の一部改正および森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、川越市税条例の一部を改正しようとするもの。

#### 改正の内容

- 個人市民税について、国税である森林環境税の賦課徴収を均等割と併せて行うことによる規定の整備をするともに、前年から異動がない場合における給与所得者の扶養親族等申告書に係る記載事項の簡素化を行う。
- 固定資産税について、大規模の修繕等が行われたマンションに対する減額措置を講じる。
- 軽自動車税について、特定小型原動機付自転車が新たに定義されたことによる種別割の税率に係る規定の整備をするともに、自動車製作者等の不正行為により発生した納付不足額を当該自動車製作者等から徴収する際に加算する割合を引き上げる。

#### 施行期日

一部を除き、公布の日

### 一般会計補正予算(第2・3号) | 議案第46・47号

#### 補正予算額

(第2号) 11億5366万円増  
(第3号) 11億4359万2千円増



#### 補正後予算額

1253億9130万7千円

#### 第2号

##### ■ 物価高騰重点支援給付金給付事業

低所得世帯の生活を支援するため、1世帯当たり3万円を給付する。



#### 第3号

##### ■ プレミアム付電子商品券の発行

原油価格や物価高騰の影響を受けた市内商店等の販売促進を図るとともに、市民の消費生活を支えるため、プレミアム付電子商品券を発行する。

【発行総額】 13億円  
【応募受け付け】 9月頃(予定)  
【販売額等】 1口1万円(商品券額面1万3千円)  
【購入可能口数】 1人3口まで(市内在住者に限る)  
【使用期間】 11月頃から令和6年2月まで(予定)

##### ■ 給食食材費等高騰対策

小・中学校や公立保育所、民間保育所等の給食について、これまでどおりの質や量を保った給食の提供ができるよう対応する。

##### ■ 認定農業者等臨時経営支援

肥料費等の高騰により、厳しい農業経営が続く中核的な農業者に対して支援金を交付する。

##### ■ エネルギー価格高騰対策および脱炭素化支援対策

省エネ家電の買い換えやLED照明設備、再生可能エネルギー機器等の導入を支援する。

##### ■ 高齢者施設、保育施設等に対する物価高騰対策支援

利用者が安心してサービスを受けられる環境の維持を目的として、事業継続のための支援を行う。

##### ■ 高齢者施設等に対する抗原定性検査キットの配布

重症化リスクの高い者が多く生活する高齢者施設等について、従事者等に対する集中的検査を引き続き行う。

##### ■ 川越市子育てファミリー応援事業(ときも赤ちゃん給付金)

令和5年4月以降に子どもが生まれた世帯に対して、乳児1人当たり1万円を支給する。



4～5ページをそれぞれご覧ください。

## 資源化センター熱回収施設 定期整備工事請負契約 | 議案第44号

**工事名** 資源化センター熱回収施設定期整備工事  
**工事場所** 川越市大字鯨井 782 番地 3  
**工事内容**  
 ■ 受入供給設備工事一式 ■ 燃焼溶融設備工事一式  
 ■ 燃焼ガス冷却設備工事一式  
 ■ 余熱利用設備工事一式 ■ スラッグ搬出設備工事一式  
**契約の方法** 随意契約  
**契約の金額** 6億7100万円  
**契約の相手方**  
 東京都品川区西品川1丁目1番1号  
 株式会社神鋼環境ソリューション東京支社  
**工期** 本契約締結の日から令和6年3月15日まで

## 川越市蔵造り資料館店蔵 耐震化工事請負契約 | 議案第45号

**工事名** 川越市蔵造り資料館店蔵耐震化工事  
**工事場所** 川越市幸町7番地9  
**工事内容**  
 ■ 建築工事一式 ■ 電気設備工事一式  
 ■ 機械設備工事一式  
**契約の方法** 一般競争入札  
**契約の金額** 3億4065万9千円  
**契約の相手方**  
 川越市広栄町4番地16  
 川木建設株式会社  
**工期** 本契約締結の日から  
 令和9年2月28日まで



蔵造り資料館イメージ図

## 議案議決結果一覧表

今定例会で審議した議案の議決結果は以下のとおりです。

### ■ 全員一致で可決した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案 46	令和5年度川越市一般会計補正予算（第2号）	議案 47	令和5年度川越市一般会計補正予算（第3号）
議案 42	川越市税条例の一部を改正する条例	同意 3	監査委員の選任につき同意を求めること <小野澤康弘氏>
議案 43	こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	同意 4	監査委員の選任につき同意を求めること <桐野忠氏>
議案 44	資源化センター熱回収施設定期整備工事請負契約	同意 5	農業委員会委員の任命につき同意を求めること <橋本知子氏>
議案 45	川越市蔵造り資料館店蔵耐震化工事請負契約	同意 6	農業委員会委員の任命につき同意を求めること <樋口直喜氏>

\* 議長は採決に加わっていません

## 本会議における 議案質疑

今定例会では延べ10名の議員が質疑を行いました。  
こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、  
掲載しています。

### 議案第42号

## 市税条例の一部改正

公明党 | 日本共産党

**問**軽自動車税の環境性能割の賦課徴収の特例の改正内容について伺う。

**答**自動車メーカー等の不正行為によって軽自動車税環境性能割や種別割の税額に納付不足額が生じた場合、当該自動車メーカー等から納付不足額を徴収する際に加算する割合を10%から35%に引き上げようとするもの。

**問**大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税の減額措置の要件は何か伺う。

**答**築後20年以上が経過している10戸以上のマンション等で、長寿命化工事を過去に適切に実施し、修繕積立金を引き上げたことで管理計画の認定を受けるまたは助言等により長期修繕計画を適切に見直し、令和5年4月1日から令和7年3月31日までに工事を完了することである。

**問**木材の輸入自由化が国産木材価格下落、林業労働者の減少、森林の荒廃を招いた。さらに国の推進する林業「成長産業化」の短期一斉伐採等は森林環境保全への懸念もある。森林環境税は法人にも課税されるか。

**答**森林環境税の納税義務者は個人とされており、法人には課税されない。

**問**東日本大震災を受け防災施策対応で納めていた税が、名目を替えて同額千円の森林環境税となるが、市民にとっては負担増ではないか。

**答**令和5年度で防災施策のための臨時措置は終了する。森林環境税は令和6年度から課税されるので、市民は新たな税を負担することになるため、丁寧な説明、周知に努めたい。

### 議案第44号

## 資源化センター熱回収施設定期整備 工事請負契約

初雁自由政令会

**問**熱回収施設定期整備工事の内容はどう決定しているか。

**答**昨年度に実施した点検の結果を基に、施設建設メーカーおよび運転管理業者にヒアリングを行い決定した。

**問**耐用年数20年の残り6年間における施設の整備計画は。

**答**毎年行っている点検結果によれば、機器類の老朽化が顕著に認められ、今後も整備範囲が拡大する傾向となっ

ており、今後、ごみクレーン、スラグ冷却装置等の整備を計画している。引き続き、市内のごみ処理に支障が生じないように努めていきたい。

**問**施設の将来計画はどのように考えているのか。

**答**資源化センター熱回収施設は、経年による機器類の老朽化が認められるため、周辺地域の方々のご意見等も踏まえ、計画的に事業を進めたいと考えている。



定期整備が行われる資源化センター熱回収施設

### 議案第45号

## 蔵造り資料館店蔵耐震化工事請負契約

川越志政会

**問**議案提出に至るまでの経緯について伺う。

**答**平成29年度契約の工事が翌年度に契約解除となったことから、今後の事業方針の見直しと進め方の検討を行った。その結果、店蔵からの復原および耐震化を行うこととし、実施設計を経て、このたびの議案提出に至った。

**問**蔵造り資料館耐震化事業の内容について伺う。

**答**解体保管してある部材を適切に修復して建築当初と同様の伝統工法で組み立て、店蔵本体の健全性の回復を図るとともに補強を行い、効率的な耐震化を行う。

**問**敷地内建造物全体の検討状況について伺う。

**答**一番街の町並みの早期復原のため、店蔵からの復原および耐震化を行い、店蔵以外の建物は、狭隘な敷地形態による作業性の問題等から段階的に実施する予定である。



文化教育常任委員会の現地視察の様子

## 議案第46号

## 令和5年度一般会計補正予算(第2号)

公明党 | 無所属 | 日本共産党

**問**物価高騰重点支援給付金給付事業実施の背景について伺う。

**答**電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金において、住民税非課税世帯を対象とした低所得世帯支援枠が設けられ、1世帯当たり3万円の給付金を支給する方針が示されたことにより実施するものである。低所得世帯支援枠の他、家計急変世帯に対しても給付する。

**問**給付に至るまでのスケジュールについて伺う。

**答**対象世帯のうち、口座情報を把握している世帯に対しては、7月に支給決定通知を送付し8月上旬に振り込みを行う予定である。口座情報を把握していない世帯には、7月に申請通知を送付し申請書を提出してもらい、申請内容を確認してから随時振り込みを行う予定である。

**問**川越駅西口のU PLACEにある、複合的な課題にも対応できる福祉総合相談窓口における相談件数は。

**答**令和2年6月から開設された福祉総合相談窓口における相談件数の延べ数は、令和2年度1万2908件、令和3年度1万4285件、令和4年度1万4404件であった。

**問**給付相談等から次の施策につなぐべき、今後の支援は。

**答**福祉総合相談窓口にある自立相談支援センターにおいて、就労に関する相談が増えていることを鑑み、収入が減少して生活に困り事を抱えた人などに対する各種相談窓口の案内等、就労や困り事に関する取り組み強化について、関係機関との連携を図る。また、本事業の周知を徹底するとともに、本事業を通じて、家計急変世帯の現状を、施策の立案等に活用できるよう努める。

**問**住民税非課税となるモデルケースを伺う。

**答**夫・妻・子の3人世帯で給与収入のある夫が妻と子を扶養している場合、住民税非課税相当収入限度額は年間187万9999円、70歳の夫婦の2人世帯で年金収入のみの夫が妻を扶養している場合、年間201万9千円である。

**問**家計急変世帯とは、具体的にどのような世帯なのか。

**答**令和5年度の住民税が課税されている世帯であっても、予期せず家計が急変し、直近の収入減少により住民税非課税相当と見なされる世帯のことである。

**問**今年6月1日の基準日に課税対象であったものが、その後生活保護になった場合に給付対象となるのか。

**答**家計が急変していると考えられるため、家計急変世帯として申請してもらい、審査後に給付する。

## 議案第47号

## 令和5年度一般会計補正予算(第3号)

公明党 | 川越志政会 | 日本共産党

**問**給食食材費高騰対策について、昨年度も同様に対策を行っているが、昨年度と比較して高騰状況を確認したい。

**答**加工食品は、食材によって上下しているが若干上昇している。また、主食・牛乳は、上昇している状況である。

**問**認定農業者等臨時経営支援の予算額が、昨年度実施した農業経営継続支援金と比較して減額している理由は。

**答**昨年度実施した川越市農業経営継続支援金は市内農業者等を対象にした。今年度は、認定農業者等の中核的な担い手を対象としたことから減額となった。

**問**肥料等の高騰による農業経営への影響について考えは。

**答**中核的な担い手以外の農業者についても厳しい状況が続いていることは認識している。今後も交付金等を活用した支援策について、国等の動向を注視していく。

**問**電子商品券事業で、今後どのようにデータを活用していくのか。

**答**商品券事業でのデータを市の各種施策に生かせるように、さまざまな視点で精度の高いデータ分析に努めたいと考えている。

**問**子育てファミリー応援事業の実施機会を捉え、必要な支援につなぐための職員体制充実についてどう考えるか。

**答**孤立して子育てをせざるを得ない場合や子育てにおける悩み事にも対応するため、給付金申請時などの機会を捉えて、支援につなげていく体制づくりも重要であると認識している。具体的には、子育て相談窓口を案内したり、必要に応じて乳幼児の支援等に対応する部署につなぐことにより、申請者の支援につなげていく。

**問**省エネ家電を購入できる資力がない世帯への支援は。

**答**エネルギー価格高騰の影響を受ける家計の負担軽減を図る観点から、非課税世帯の人が購入する場合には、2万円を加算することを考えている。

**問**県の子育てファミリー応援事業に参加するメリットは。

**答**県の子育て用品に加え、本市から1万円が支給され、経済的支援がより手厚くなる。県や本市の支給データの活用により、子育て世帯との接点の増加も期待される。

**問**物価高騰が続く状況において給食費無償化や水道料金減免などを行う必要があると考えるが、市長の見解は。

**答**各企業における賃上げの動きや年金額の増額改定等の背景もあるため、社会経済情勢や国・県の動向、財源等を総合的に勘案し、必要な対策を講じたいと考える。





# 市政に関する 一般質問

30名の議員が  
一般質問を行いました。  
質問した議員が選んだ1問を  
掲載しています。

議員氏名	中継映像の 二次元コード
会派名 議員氏名 一般質問の表題	質問の 順番
問	_____
答	_____
問	_____
答	_____
問	_____
答	_____

※印の付いた答弁は複数の答弁者の  
発言をまとめたものです。




初雁自由政令会 **小林 範子** 


回遊・滞在型の観光推進 2

**問**蔵の街に観光客が一極集中しないよう、歴史や文化などさまざまな川越の魅力を深く学んで楽しめる長時間滞在の観光客を増加させ、回遊性を高める方策を伺う。

**答**産業観光部長 回遊性を高める方策として、観光エリアを蔵造り、本丸御殿、喜多院、その他郊外の4つに区分して捉えており、これらを回遊してもらうことにより、長時間滞在を促進している。その際に小江戸川越みどころ観光90コース、小江戸川越七福神めぐり、観光案内所スタッフが独自に作成した御朱印を押印できる神社仏閣を巡る散策コースの活用やアニメの舞台やドラマのロケ地となった場所を巡ってもらうことを考えている。

川越を学ぶ滞在型観光




初雁自由政令会 **牛窪 喜史** 


郷土愛を学び文化の継承 4

**問**子どもたちが楽しみながら郷土愛を深めることのできるものづくり体験や過去の時代を疑似体験できる事業とはどのような内容か伺う。

**答**教育総務部長 郷土川越への理解を深めるため、博物館において歴史・文化に係る子ども向け体験学習等を行っている。ものづくり体験としては、川越唐棧の手織り体験、七夕行事のまこも馬作り、小正月の繭玉飾り作りなどがある。また、レプリカのよろいを着る体験、茶道体験、生け花体験などを川越城本丸御殿で実施し、江戸時代の雰囲気漂う中で体験してもらっている。

小・中学校校舎の安全性 川越の文化芸術学ぶ環境



初雁自由政令会 **神田 賢志** 

部活動にスナッグゴルフを 1


**問**小学校のクラブ活動にスナッグゴルフを導入する場合に、必要となるものを伺いたい。


**答**学校教育部長 小学校のクラブ活動は、児童の自主的、実践的な取り組みとなることが大切であるため、まずは、児童がスナッグゴルフに対して、興味や関心があることが前提になるものと考えます。



昨年行われたKawagoe Future Cup (川越市小学生スナッグゴルフ大会)

オリンピックレガシー




初雁自由政令会 **小島 洋一** 


福原地域の通学路の課題 3


**問**福原地域の通学路のうちで、最も危険な市道0058号線の県道川越入間線以北を含めた拡幅について、市の考えを伺いたい。

**答**建設部長 県道川越入間線以北の拡幅については、現在、具体的な計画はないので、今後、市内全体の幹線道路網整備の進め方の中で、検討していきたいと考えているが、まずは、現在事業中の区間について、早期完成を目指し、鋭意、取り組んでいく。



福原地域の通学路の課題




初雁自由政令会 **村山 博紀** 

学校の安全点検の強化を！ 5


**問**学校の校庭に埋まるくぎで児童が大けがをした杉並区の事故を受け、金属探知機の配備や専門業者による一斉点検、地域住民を巻き込んでの安全点検等を行う考えは。

**答**教育長 学校は、子どもたちが1日の多くの時間を過ごす場所であり、校庭を含む学校施設は、常に安全で快適な場所であればならない。そのために、危機管理意識を持って、定期・臨時・日常点検を行うことを全学校に義務付けている。児童生徒の安全のため、学校安全計画や危機管理マニュアルに基づいた安全対策の徹底を図り、安全点検の道具をそろえることや専門業者への委託等については、国や県の動向を注視しながら対応したい。

学校の校庭の安全点検




初雁自由政令会 **中原 秀文**  
**財源確保のための企業誘致** 6




**問** データの多角的な分析なども含めたEBPM（証拠に基づく政策立案）による財源確保の観点からの企業誘致について、市はどのように考えているか。

**答** **産業観光部長** 昨年度、地域経済分析システムRESASを活用した政策立案ワークショップに参加することで、初めてEBPMによる企業誘致施策の検討を行ったが、今後、人口減少と高齢化に伴い、本市においても個人住民税などの税収減が想定されるので、法人市民税や固定資産税など、企業からの税収増加を図るために、関連部署との連携を強めながら、EBPMによる企業誘致を推進していく。

**副** EBPMによる財源確保




川越志政会 **松本 きみ**  
**子育て情報の提供** 7




**問** 子育て施設の充実により異なる分野の専門家が連携を図るべきだが、幼稚園や保育園等の相談環境をより良いものとするため、市はどのように考えているのか伺う。

**答** **こども未来部長** 本市では、保育課、子育て世代包括支援センター、子育て支援センターなど、さまざまな施設や事業を通じて悩み事や相談に対応しているところだが、子育てをする人の環境はさまざまであり、子育てに関する情報が十分に伝わっていない場合も考えられることから、身近にある相談窓口のさらなる周知、関係機関における情報共有や連携、子育てに関する積極的な情報発信に努め、より相談しやすい環境の整備を図っていく。

**副** 子育て支援施設情報共有



無所属 **小林 薫**  
**市長のわいせつ行為疑惑** 8




**問** 市長は女性にことわって手をつなぐのはセクハラではないと答弁しているが、一般論としてことわる事自体がセクハラだと思うが、市長の認識は。

**答** **市長** 一般的にはその当事者の立場、状況によってセクハラになるかどうか決まると考えている。


社会的にどこまで許容できるかは、状況、時代によって全く違って来るから一概には言えないが、今の社会においては、手をつなぐ行為はことわれば問題ないであろうと一般的には考えられていると私は考えている。



**副** 市長のわいせつ行為疑惑



公明党 **嶋田 弘二**  
**樹木の管理について** 9




**問** 市が管理している都市公園において、樹木医に樹木の健全性を把握させることについての考えを伺う。

**答** **都市計画部長** 日常点検では発見しづらい樹木の内部の状況などは、樹木医による腐朽状況などが分かる精密診断を行うことで発見することが期待できる。


市内の事例としては、富士見櫓跡にある巨木となったクスノキについて、樹木医による精密診断を行い、維持管理を進めており、シンボルツリーや巨樹、古木等の剪定、将来にわたり残すべき樹木の保全等については、必要に応じ、樹木医に意見を求めるなど活用していきたいと考えている。

**副** 鳥獣被害

**副** 樹木の管理



公明党 **須藤 直樹**  
**高齢者支援体制の充実を** 10




**問** 介護予防の効果、生きがいの体験を広げるために、地域の互助の力は欠かせない。今後、地域包括ケアシステムの充実を図るために、市はどのように考えているか。


**答** **福祉部長** 今後も、地域包括ケアシステムの5つの構成要素である住まい・医療・介護・生活支援・介護予防の有機的な連携・結び付きをより強化していく。

また、高齢者を支える生産年齢人口の減少も見込まれているため、高齢者一人一人が健康づくりや介護予防等に取り組む自助、地域におけるボランティアなど支え合いや助け合いである互助の取り組みのさらなる推進を図り、地域包括ケアシステムの充実を図っていく。

**副** 高齢者支援



公明党 **鈴木 謙一郎**  
**教職員の負担軽減を** 11



**問** 川越市の教育現場がより働きやすく、やりがいのあるものになるための、今後の教職員の負担軽減の取り組みの方向性について伺う。

**答** **学校教育部長** 中学校の休日の部活動の地域移行について検討を進めるとともに、スクール・サポート・スタッフの拡充を図っていく。さらに、教員定数の改善について、あらゆる機会を捉え、引き続き、国や県に要望していく。今後、学校以外が担うべき業務を検討するなど、保護者や地域の理解や協力を得ながら、教員が教育活動に専念できるよう、負担軽減の取り組みを進め、教育の質の維持向上に取り組むことも今後の方向性と考える。

**副** 小中学校の諸課題





公明党

中村 文明

移動期日前投票所の設置を 12



**問**投票所まで行くのが難しいとの意見を聞くが、高齢者など、投票所へ行くのが難しい人への移動支援や移動期日前投票所の設置についてどのように考えているか。

**答**選挙管理委員会事務局長 投票所に行くのが難しい人への移動支援や移動期日前投票所の設置は投票環境の向上につながると認識している。しかしながら、移動支援や移動期日前投票所の設置には、選挙ごとに経常経費が発生することや、対象地域や対象者の基準の設定、場所の選定など慎重に検討する必要がある。他市の状況等を踏まえ、移動支援、移動期日前投票所について調査研究していきたいと考えている。

📌投票啓発と投票環境向上 📌子どもの居場所づくり



公明党

田畑 たき子

安全・安心なまちづくり 14



**問**他市では防犯カメラ付きの自動販売機等も増えており地域の安全・安心を守るため、防犯カメラの設置促進は必要と考えるが市の考えを伺う。

**答**市民部長 防犯カメラの設置を促進することは、犯罪の予防や抑止および事件、事故の早期解決につながり、市民の安全安心の確保に寄与するものと認識している。

防犯カメラの設置促進については、市の補助制度の創設について引き続き慎重に検討を進めるとともに、埼玉県警察と連携し、防犯カメラ付き自動販売機の設置促進に向けた周知啓発等に努めるなど、防犯対策を推進していきたいと考えている。

📌地域の見守り



初雁自由政令会

小高 浩行

農業公社などによる支援を 16



**問**令和3年の一般質問で農家の支援方法として、農業公社のような組織事例を提案したが、その後の考え方はどうか、市の見解を伺う。

**答**産業観光部長 農業公社で行われている、農業機械のリース事業や農作業受託事業は、効果的な支援であり、農地の維持と農業経営の継続への貢献という点で大きな役割を果たしていると考えます。

一方で、運営面において、財源の確保などの課題も見受けられ、本市としては、今後、地域計画を策定する協議の場などを活用し、地域農業の在り方など、農業者や関係機関の意見を聞いていきたいと考える。

📌農業振興計画改訂版



公明党

桐野 忠

利便性の高い公共施設に 13



**問**障がい者や高齢者も含め多くの声を聴きながら、利用しやすい公共施設を目指すべきだが、誰もが利用しやすい公共施設に向けた市の今後の取り組みについて伺う。

**答**栗原副市長 必要な設備の不足や使い勝手が悪い場合があることは認識している。誰もが利用しやすい施設を造るため、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき多様なニーズを反映させることが必要であると考えている。このため、川越市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、誰もが利用しやすい施設となるように努めていきたいと考えている。そのためには利用者の声を改善につなげる仕組みも検討する必要があると考えている。

📌コロナ5類移行後の対応 📌利用しやすい公共施設



川越志政会

中野 敏浩

農地の有効活用 15



**問**農地の有効活用については、営農者の所得向上を目指した対策が必要である。営農基盤である農地の有効活用について、今後の市の取り組みを伺う。

**答**産業観光部長 基幹的農業従事者数の減少が続いているため、人・農地プランを実質化し、地域計画に反映することで、担い手への集積や、ほ場整備による農地の面的集約など、農業の生産性の向上を図っていく。併せて、営農者が安心して農業を続けていけるよう、水路や農道等の農業生産基盤の維持管理や更新を基幹的農業従事者だけでなく、副業的な農業者を含めて地域で担えるよう、多面的機能支払交付金の取り組み等を支援していく。

📌農地の有効活用



参政党

加藤 みなこ

屋外公衆トイレの管理 17



**問**きれいなトイレや防犯対策がされているトイレは犯罪の発生率が低くなることから、今後の防犯対策等について市の考えを伺う。

**答**市民部長※ 本市における公共施設等の防犯対策については、川越市防犯のまちづくり基本方針に基づき、公共施設等における防犯性の向上や防犯対策器具の有効利用と普及のための各種施策を推進している。


今後の屋外公衆トイレの防犯対策は、施設管理者の判断で適切な防犯対策を進める必要があると考えている。


また、維持管理は、所管部署により快適で利用しやすい環境となるよう努めていく必要があると考えている。

📌屋外公衆トイレ

📌子どもの居場所支援対策






川越志政会 **倉嶋 真史**   
 地域医療について 18


**問**看護師等の確保について、実態に即した目標が必要と考えるが、積み上げ型の目標に取り組むことはできないのか。

**答**保健医療部長 埼玉県が県内に就業している看護師等の人数を数値目標として設定しており、県が進める方向性との整合を図りながら、施策を推進する必要がある。県全体の目標値を踏まえ、試算することはできるが、本市の目標値を算出することは研究が必要と考えている。

より実態に即した目標値を持つことは、施策を進める上で重要と考えており、本市の目標値については検討していきたいと考えている。

 地域医療




川越志政会 **桑 真美子**   
 持続可能な観光を目指して 19


**問**観光客増加対応は急務だ。地域経済の活性化と市民生活の維持・向上が図れる住んで良し、訪れて良し、営んで良しの持続可能な観光を目指すべきだが本市の考えは。

**答**産業観光部長 観光客、地域住民、事業者が共存できるよう、それぞれの立場を理解し、思いやり、配慮のある行動が必要である。市の役割として、それぞれの主張を理解し、課題に対し必要な情報提供などを行いながら、共に解決策を協議・検討することが求められる。住民は自分が住むまちに誇りと愛着を持ち、事業者は気持ちよく事業を営み、観光客は何度も訪れたいくなる、持続可能な観光地を目指すべきと考える。

 観光政策の諸課題

 景観まちづくりの推進



公明党 **小ノ澤 哲也**   
 ヘルメットの公費助成を！ 20


**問**命を守るため、1番の課題である予算を圧縮するため、対象者の世代を絞り公費助成を行い、自転車用ヘルメット購入に導く必要があると思うが、市の考えは？


**答**市民部長 自転車を利用する全ての年代の人にヘルメット着用の重要性や必要性を伝えていくことが重要であり、特定の対象者に対し、自転車用ヘルメットの購入に対する公費助成を行うことは難しいと考えている。

今後は各年代に合わせた効果的な啓発活動を実施していく。



 自転車用ヘルメット助成  ワクチン接種の諸課題




川越志政会 **樋口 直喜**   
 喫煙マナーの向上と啓発 21


**問**マスクを外す人が増え、路上喫煙も目立ってきた。指定喫煙場所の設置と併せて禁止地区を追加することで、路上喫煙の防止に関する条例の再周知を図れないか。

**答**環境部長 健康増進法の改正や加熱式たばこの普及等により、喫煙行動に変化が生じている実態があり、禁止地区の追加および条例の再周知の必要性が生じていると認識している。禁止地区の追加には、啓発を行うための人的資源や指定喫煙場所をどこに設置するか等の課題があるので、実態と課題について、調査・研究していく。

 路上喫煙防止条例

 予算編成と政策決定




無所属 **伊藤 正子**   
 市民の声を市政に生かして 22


**問**こども家庭庁が設立された。こども基本法第11条にある、こども施策に対するこども等の意見の反映のための聴取方法について、デジタル活用を含めどう考えるか。


**答**こども未来部長 市では、こども計画の策定に向け、今年度は子どもや保護者等を対象とした調査を行うこととしており、子どもに対して直接アンケートを実施し、子どもの意見を施策に反映したいと考えている。

この他、電子媒体を活用した意見募集や、対面で子どもの意見を聴く機会を設けることなどについても検討していきたいと考えている。

 市民の声をまちづくりに  防災のデジタル化と課題

 選挙広報と投票率向上



初雁自由政令会 **小野澤 康弘**   
 在宅医療ニーズと取り組み 23

**問**慢性期の医療ニーズやみとりを含む医療提供体制の受け皿としての在宅医療の理解を市民に深めてもらうため、より分かりやすい情報提供が必要と考えるが市の考えは。

**答**保健医療部長 在宅医療は、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるように、患者の日常生活を支える医療であり、自宅での療養を希望する患者や家族に分かりやすく周知を図ることが必要であると考えている。

医療関係者の意見や、在宅医療・介護連携に係る取り組みとも連携を図りながら、市民に必要な情報をより分かりやすく提供できるよう努めていきたいと考えている。

 在宅医療



川越志政会 栗原 瑞 治  
南古谷駅北口開設の諸課題 24



**問**内水被害や放置自転車問題などが起きてから手を打つのではなく、近年の豪雨や将来の駅周辺開発等、10年後・20年後を見据えて先に手を打つべきでは？

**答**都市計画部長 雨水対策を含めた防災・減災対策は、ハード整備だけでなくソフト対策も重要であることから、市では水害ハザードマップを配布するなどの取り組みをしている。今後は、周辺の流域対策について関係機関と協議を行い、安心して住み続けられるまちづくりに努めていきたい。駅北側への自転車駐車場の設置は、民間による設置が促進されるよう、今後も広く情報発信等に努め、地域核にふさわしい市街地の形成を図っていきたい。

南古谷北口開設の諸課題



無所属 川口 啓 介  
物が言えない空気があるか 26



**問**市の現状として、物が言えない空気や職員のモチベーションの低下に気になるところがあるとしたら、市の今後を根本から揺るがす大問題だ。副市長の現状認識は。

**答**栗原副市長 組織の中で物が言えない空気や職員のモチベーションの低下があるとは思っていない。

今後さまざまな行政課題が起きていく中、新しい発想を加えて仕事をしていくため、人材の育成や確保に努めていきたい。



市の現状と今後の方向性



日本共産党 今野 英 子  
ひきこもり支援の体制強化 28



**問**困難を抱えている人や家族に対し、きめ細かな対応やひきこもり支援を行うため、今後、関係機関と連携し、体制を強化することが重要だが、市の考えを伺う。

**答**保健医療部長 ひきこもり状態にある人やその家族は、ひきこもりに至った原因や過程、引きこもっている期間や抱えている課題などがさまざまであることから、必要となる支援も一人一人の状況により異なる。そのような背景から、庁内連携を図るとともに、医療関係、就労関係、福祉関係、教育関係等の各関係機関と連携し、ひきこもり支援の体制を強化するための市町村プラットフォームの設置を検討していきたいと考えている。

ひきこもりなどへの支援 就学援助の拡充を



川越志政会 吉敷 賢 一 郎  
新たな施設予約システムを 25



**問**公共施設予約のキャッシュレス決済やスマートフォン対応等、課題解決や利用者の利便性向上のため、新たなシステム導入を検討すべきと考えるが、市の考えを伺う。

**答**情報政策担当部長 公共施設予約システムは、平成20年度に導入し約15年間使用しているが、キャッシュレス決済やスマートフォン対応などの新しい機能追加も必要と考えており、昨年度、新たなシステムの更新に向けて製品調査を始めた。今後、新システムの更新を検討する中で、公民館グループとそれ以外の施設の利用者番号を一つにまとめることや、長期間利用されていない利用者番号の整理についても検討を行う。

公共施設予約



日本共産党 池 浜 あ け み  
模擬選挙で主権者教育を 27



**問**近年の低投票率は民主主義を危うくする。投票環境の改善や周知の徹底が必要。学校での実際の選挙を扱う模擬選挙の実施等が主権者意識の醸成につながるのでは。

**答**学校教育部長 中学校の社会科において、各政党の政策を調べ、模擬選挙を実施することは、政治的中立性の確保や、公職選挙法上のさまざまな制限に抵触する可能性が懸念されるが、年間指導計画に位置付け、実際の選挙に関する身近な話題を取り扱って学習を行うことは、生徒の主権者意識の醸成につながるものと捉えている。

また、ふるさと学習で川越を知り、課題と解決方法を考えることも主権者意識の醸成につながると捉えている。

健全な民主主義の発展



日本共産党 川口 知 子  
公園・児童遊園の充実を 29




**問**児童遊園の昨年度の維持管理費は、5年前の半分に減った。子どもや市民の目線に立った、都市公園や児童遊園の遊具、設備の整備充実について市長の考えは。

**答**市長 公園は、市民の豊かな生活を支えるサードプレイスであり、また、子どもの健やかな成長を支える場、憩いの場、安らぎの場として重要であり、多くの人に安全・安心、かつ快適に利用してもらえるよう適切に整備を進めていくべきものと考えている。厳しい財政事情の中、短期間で多くの公園の遊具の更新や新設をしていくことは困難であるが、子どもを含む、市民のニーズを踏まえ、計画的に取り組んでいきたいと考える。


インボイス導入への影響 都市公園、児童遊園充実





日本共産党 **柿田 有 一**

強引な保険証一体化は危険 30



**問**国は不具合が相次ぐマイナンバーカードと健康保険証の一体化を強引に進めている。基本的な人権を守る立場で市独自に個人情報を守るための施策を行う意思はあるか。


**答**市長 マイナンバーカードの利用範囲の拡大に伴い、関連するシステムの整備が進むものと認識しているが、報道にもあるように全国でトラブルなどが発生している。

今後、国も慎重に進めていくものと思うが、市としても、国の動向を注視していきたい。また、本市の住民に不安を抱かせるようなことのないよう、個人情報の保護に関して、市で独自に対策する必要が生じた場合には、適切に対応していきたいと考えている。

④高齢化を包摂する街

④マイナンバー健康保険証

## 広報紙配信アプリ「マチイロ」について

かわごえ議会だよりは、 **マチイロ**  
市議会ホームページの他、マチを好きになるアプリ  
広報紙配信アプリ「マチイロ」を用いて、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。

川越市のさまざまな情報も見られますので、ぜひご活用ください。

アプリのダウンロードはこちらから ▶



## 本会議の傍聴にいらっしゃいませんか？

川越市議会の本会議はどなたでも傍聴することができます。定例的な本会議は、年に4回（主に3月、6月、9月、12月）行われていますが、詳細な日程等は川越市議会ホームページでご確認ください。

傍聴を希望される方は、本会議開催日に市役所7階の傍聴受付までお越しください。なお、本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。

また、川越市議会の議場は令和4年1月に老朽化した設備の改修が完了しました。新たに150インチスクリーン、資料表示・時間表示用モニター、書画カメラが設置された他、スピーカーの改修や照明のLED化等を行いました。

ぜひ、リニューアルされた議場での議論の様子をご覧になってください。



スクリーンを活用して一般質問を行う議員



市議会ホームページは  
こちらから ▶



インターネット中継は  
こちらから ▶



リニューアル後の議場



傍聴席

### 今定例会の傍聴人数

今定例会では合計55名の方が傍聴されました。

- 開会日 …………… 5名
- 議案質疑 …………… 8名
- 一般質問① …… 10名
- 一般質問② …… 5名
- 一般質問③ …… 19名
- 一般質問④ …… 7名
- 最終日 …………… 1名

## 議会情報

川越市議会に関する情報をお知らせします。

### 議会運営委員会

6月13日、今野英子委員から議会運営委員の辞任願が提出され、これを許可し、新たに柿田有一議員を委員に選任しました。

### 常任委員会

常任委員会の正副委員長が次のとおり互選されました。

	委員長	副委員長
総務財政常任委員会	牛窪 喜史	嶋田 弘二
文化教育常任委員会	田畑 たき子	池浜 あけみ
保健福祉常任委員会	柿田 有一	糸 真美子
産業建設常任委員会	中野 敏浩	村山 博紀

### その他の委員会

その他の委員会の委員等は次のとおり決まりました。

#### ■ 図書室委員会

議会図書室の管理・運営に関し、協議を行います。

委員長 池浜 あけみ 副委員長 小林 範子  
委員 柳沢 貴雄 松本 きみ 鈴木 謙一郎  
高橋 剛

#### ■ 政務活動費経理責任者会議

政務活動費の適正な使途に関し、協議を行います。

座長 吉野 郁恵  
小林 透 倉嶋 真史 牛窪 喜史 今野 英子  
中村 文明 山木 綾子 片野 広隆

### 議会運営委員を紹介します

議会運営委員会は、議会を円滑に進めるため、議会運営に関するさまざまなことを協議する委員会です。

具体的には、本会議の会期や議事の日程、進行などを協議しています。また、市議会をより良くするための改革事項なども協議しています。委員の定数は9人、任期は議員の任期と定められています。

写真は前列左から、柿田委員、片野委員長、小高副委員長、小ノ澤哲也委員です。後列左から、樋口委員、栗原委員、中原委員、牛窪委員、嶋田委員です。



### 広報紙編集委員を紹介します



広報紙編集委員会は、かわごえ議会だよりの編集を行う委員会です。

委員は、各会派から1名と会派に属さない議員から1名の計6名で構成され、任期は、7月1日の臨時号の議会だよりの発行から2年間です。よろしくお願いいたします。

写真は前列左から、川口知子委員長、糸副委員長です。後列左から、加藤委員、中村委員、高橋委員、神田委員です。

### 編集後記

議会だよりが横書きに変わり「読みやすくなった」と感想が寄せられました。議会の様子は、市議会ホームページのライブ中継・録画中継でご覧いただける他、会議録は市役所東庁舎の情報公開コーナーや図書館等でご覧いただけます。また、各議員もさまざまな方法で議会の内容を発信しています。まずは、議会に興味を持っていただけるような紙面づくりに努めてまいります。  
(川口 知子)